【学習システム】

通信制での学習は、「レポート(R)、テスト(T)、スクーリング(S)」を3本柱として成り立っています。自分のペースにあわせて科目登録を行い、自学自習を基本に学習します。「あせらず、やすまず、あきらめず」が合言葉です。

本校では、各自の修得単位数によってステージⅠ~Ⅲに区分し、学習の目標としています。

	○科目で決められたレポート(報告課題)を作成して提出することで指導を受けます。
	○一般に科目の単位数×3本のレポートが配布されます。
レポート	例:現代の国語(2単位)・・・レポートは、年間6本
(添削指導)	○各レポートには提出期限があります。
	○学習内容は、事前に「学習のしおり」等で公開されます。全日制課程普通科で学ぶ内容とほぼ同
	じです。
	○各学期に1回ずつ考査が実施されます。
テスト	○各学期ごとに規定数のレポートが期日までに合格すると、テストの受験資格が得られます。
(考査)	○年間で期限までに合格すべきテストの回数が定められており、その全てを受験していることが単
	位認定の条件となります。
	○年間約35回、日曜または土曜日にスクーリング日が設定されますので、登校して面接指導を受
	けます。
	○教科・科目に応じて面接指導に出席すべき規定回数があります。
スクーリング	例:現代の国語(2単位)・・・開講時数6回に対して、規定時数2回
(面接指導)	生物基礎(2単位)・・・開講時数12回に対して、規定時数8回
	体育3 (3単位)・・・・・開講時数21回に対して、規定時数15回
	○時間割は、年間を通じて開講科目が割り振られており、年度初めに年間計画を発表します。
	○面接指導の内容は、各回のレポートの学習範囲や、全実施内容を事前に学習計画で公開します。

<注意すること>

- ○単位制のため、年度初めに学習する科目を登録します。 (年間最大登録単位数があります。また、登録科目以外の受講はできません。)
- ○全てのレポートに合格し、定められたテストを受験し、スクーリングの出席規定時数を満たすことを要件に、 それらを総合して、年度末にその科目の成績が決められ、単位の修得が認められます。
- ○通信制では、レポート提出や考査受験をはじめ、多くのことに期限があります。期限を過ぎた場合は、一切 受け付けられませんので注意が必要です。
- ○受講登録ができなかったり、3年連続で単位修得ができなかったりした場合は「除籍」となります。

【卒業の条件】

次の条件を全て満たすことが卒業要件です。

- 1 3年以上、高等学校に在籍した。(転入学、編入学の場合は、前籍校の在籍期間を含みます)
- 2 必履修科目を修得した。(必履修科目は、現代の国語、数学 I などあらかじめ科目が決まっています)
- 3 74 単位以上の単位を修得した。
- 4 30 時間以上の特別活動に出席した。